

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第265日 - 266日

英語版はソフィア・オリーニクさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。

攻撃を受けている都 昨日、ロシアはウクライナに約100発のミサイルを**発射**した。そのうち16発が目標を直撃しました。さまざまな地域のエネルギーインフラストラクチャは砲撃を受けました。11月15日の攻撃は、2月24日以来最大の同時ミサイル攻撃です。最大の攻撃数は、ウクライナの中央部と北部で記録されました。ミサイル攻撃の結果、1000万人は電気をが使えなくなりました。真夜中前にゼレンスキー大統領は、技術者が修理作業の結果、800万人に電力供給を戻すと**発表**しました。キーウ、ハルキウ、ジトームイル、リヴィウ州では、**最も深刻な停電**が発生しました。キーウでは、ミサイルが2つの住宅に**被害**を与え、1人が**死亡**しました。砲撃の結果、ハルキウ州は停電に直面しました。リヴィウ市の80%とテルノーポリ州の90%電気が遮断されました。

11月15日の夕方、ウクライナへの大規模な攻撃の最中にウクライナとの国境に近い東部プシェボドフにロシア製ミサイル1発が**着弾**し、2人が死亡したことを確認した。夕方、ポーランドのアンジェイ・ドゥダ大統領が国家安全保障会議を招集しました。ポーランド大統領は以前、NATO事務総長イェンス・ストルテンベルグ、米国大統領ジョー・バイデン、ウクライナ大統領ボロディミール・ゼレンスキーと会談しました。

NATO事務総長のイェンス・ストルテンベルグは、NATOが状況を監視しており、同盟国は緊密に協議していると**述べました**。また、ポーランドのアンジェイ・ドゥダ大統領は、通話中にNATO第4条も議論されたと**報告しました**。

その後、ポーランド外務省は、ロシア製のミサイルがポーランドの領土に落ちたことを公式に**発表しました**。この出来事に関連して、ズビグニェフ・ラウ外務大臣は、ロシア連邦大使を外務省に召喚し、直ちに詳細な説明を求めました。

外交政策。G20。サミット中、**ゼレンスキー大統領**は仮想演説で、ロシアの戦争に対するウクライナの平和の公式を概説しました。提案された計画には、核と放射線の安全性、食料安全保障、エネルギー安全保障、ロシアによる不法拘留および国外追放された人々の解放、国連憲章の実施、ウクライナの領土保全と世界秩序の回復、ロシアのウクライナからの軍隊の撤退、および敵対行為の停止、正義の確保、環境保護、エスカレーションの防止、ウクライナでのロシア戦争の終結です。

一方、水曜日の宣言草案のG20(G20)のほとんどのメンバーは、ウクライナに対するロシアの侵略を「最も強い言葉で遺憾に思う」と述べています。宣言の文言を考慮して、**ロシア代表ラブロフ**は、ウエストが共同宣言を「政治化」していると非難し、宣言の発表前に会議を去ったと伝えられています。

今日、**G20サミット**は最終日に入り、火曜日にウクライナ近くのポーランド領土にミサイルが着陸し、2人が死亡したことをめぐる緊急会議が開かれました。

欧州連合は、ウクライナに対する**EU軍事支援ミッション(EUMAM)**を正式に開始しました。20以上の加盟国がこのミッションに参加する能力を提供したため、15000人のウクライナ兵の最初のバッチはEUベースの訓練キャンプで訓練されると**声明**は述べています。

EU統合。**EU候補**の地位を獲得してから4.5か月後、ウクライナは、加盟に向けてさらに前進するために必要なEU勧告の実施において適度な進歩を遂げました。平均専門家スコアは10点満点中4.7です。EU統合に関するウクライナの進捗状況に関する最近の評価は、最高の進捗状況が憲法裁判所改革の実施においてなされたことを示しています。ウクライナ裁判官委員会 (HQCJ)はわずかに引き下げられました。

解放 ヘルソン州。11月14日、ウクライナのヴォロディミールゼレンスキー大統領は、数か月にロシアの占領の後、ロシア軍から解放された南部の都市ヘルソンを**訪問**し、住民と軍隊を喜ばせました。ムィコライウ州。ロシアの占領者は、スニフリフカからすべてのユーティリティ機器を**盗みまし**た。

人権 ロシア軍の敵対行為の結果としてウクライナへの本格的な侵略が始まって以来、702人の企業労働者が職務遂行中に**負傷**し、そのうち214人が死亡しました。

捕虜処遇調整本部、国家情報局、赤十字国際委員会は、すべての捕虜の家族と、ICRCによって正式に地位が確認された捕虜との接触を確保することに**合意**しました。これまでのところ、赤十字社はウクライナの捕虜からの2000通の手紙を渡しました。

食糧安全保障 欧州連合は、特にウクライナでのロシアの侵略戦争によって引き起こされた食糧危機の影響を最も受けている国に2億1000万ユーロの援助を**割り当てる**予定です。

戦後復興 11月14日、国連総会は、ウクライナに対するロシアの戦争によって引き起こされた損害をウクライナに補償するメカニズムの創設に関する決議草案を**採択**しました。これに対し、ロシアは、賠償金の可能性に応じて個人投資家の財産を差し押さえると**脅**しました。

戦争犯罪の訴追 ウクライナでロシアが犯した犯罪を調査し、正義を確保することを目的とした取り組みを調整するため、ウクライナと国際弁護士、検察官、裁判官、科学者が参加したハーグでの2日間の会議が**開催**されました。

地雷除去 ウクライナへの本格的な侵攻が始まって以来、2145個の航空爆弾を含む278,333個の爆発物と2,845キロの爆発物が無力化されました。

エコ犯罪。ヘルソン地域の占領中、ロシア軍は、ウクライナのレッド・データ・ブック(ウクライナの法律で保護されている絶滅危惧種の動物、植物、菌類の公式の国家レッド・リスト) に記載されている動物を殺しました。ヘルソン地域のロシア軍の陣地の1つで、ウクライナの法律の保護下にあった灰色のハムスターを含む、吊るされたげっ歯類が発見されました。さらに、ヘルソンから逃げる前に、ロシアの侵略者は地元の動物園からほとんどの動物を盗み、一時的に占領されたクリミアに連れて行きました。

G20サミットで、ウクライナのゼレンスキー大統領は、ウクライナに対するロシアの侵略の結果、600万匹の家畜が死亡し、5万頭のイロカが黒海で死亡したと報告しました。数千ヘクタールの土壌が有害物質で汚染されています。

エネルギー安全保障。ウクライナは、電圧低下のため、ドルジバ・パイプラインを介したハンガリーへのロシア産石油の汲み上げを停止しました。ドルジバ・パイプラインとポーランドの領土を攻撃するミサイルを介した石油輸送の停止に対応して、ハンガリーのオルバン首相はハンガリー国防評議会を招集しました。

ポーランド当局は、ガス事業者エウロガスのガスプロムの株式48%を押収しました。この会社は、ルートがドイツで終わるヤマル-ヨーロッパ・ガス・パイプラインのポーランド部分を管理しています。一方、ドイツは、以前はガスプロム・ゲルマニアとして知られていたロシアのエネルギー大手ガスプロムの元子会社であるヨーロッパ向けエネルギー確保(SEFE)の国有化を発表しました。

ウクライナ政府は、エネルギーシステムの復旧と安定運用に必要な輸入エネルギー機器の購入について、付加価値税と輸入税を免除しています。

英国政府は、ロシアの侵略の結果として損傷を受けた民間インフラ施設の復旧のために、ウクライナのエネルギー支援基金に資金を割り当てることを決定しました。

経済安全保障 ウクライナのセルヒー・マルチェンコ財務大臣は、戦争がウクライナに国家GDPの3分の1の損失をもたらしたと報告しました。戦争によるさらなる経済的損失は、ウクライナの国内総生産の33~35%のレベルで予想されます。

G20サミットで、カナダのジャスティン・トルドー首相は、ロシアの残忍で不当な侵略から国を守るのにウクライナ軍を支援するため、国がウクライナに追加の軍事援助として5億ドルを提供すると発表しました。一方、オランダは、ウクライナの正義を支援するために、さらに1,500万ユーロを割り当てる予定です。

エストニアのウルマス・ラインサル外相は、ヨーロッパに対し、ウクライナへの支援モデルを変更し、EUの国内総生産の1%に引き上げるよう求めました。

制裁 ロシア連邦はウクライナ出身の人物、特にOUN指導者ステパン・バンデラの孫を含む100人のカナダ市民に対して制裁を課しました。制裁対象者の中には、カナダの高官、ビジネスマン、多数のプロバンド組織の活動家、メディア、金融機関が含まれていました。このリストには、俳優のジム・キャリーと女優のキャサリン・ヴィニックも含まれています。

米国は、ロシアが対ウクライナ戦争のために軍事技術を調達するのを支援する個人や企業の国境を越えたネットワークに対して制裁を課しました。制裁は14人の個人と28の法人に影響を与えました。8機の飛行機も封鎖された。

デジタルセキュリティ AppleとGoogleのオンラインストアにある何千ものスマートフォンアプリケーションには、米国を本拠地としているテクノロジー企業 [Pushwoosh] によって開発されたロシアのコンピュータコードが含まれていることが、ロイターの調査でわかりました。さらに、アメリカのユーザーを装ったロシア製ソフトウェアが、米軍やCDCのアプリに侵入しています。

文化 英国のストリートアーティスト、バンクシーは、ウクライナの首都のキーウ、イルピンの郊外、ロシアの爆撃で最も打撃を受けた場所の中の一つのボロジャンカの町など、ウクライナのさまざまな場所で7つの壁画を作成したことを確認しました。

#### 読書コーナー

- [The Russian Empire Must Die | The Atlantic](#)

#### ポッドキャストのおすすめ

- [Ukraine: War and Words | BBC Sounds](#)

#### 総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年11月16日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 82,710人、戦車 2871台、装甲戦闘車両(APV) 5,797台、砲兵システム 1860台、多連装ロケットシステム(MLRS) 393台、対空戦システム 209台、固定翼航空機 278台、ヘリコプター 261台、軽装甲車 4,227台、ポートおよび軽装ポート 16台、運用戦術レベルUAV 1525台、特殊装備 160台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 3474台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 戦争中の性的暴力の被害者を支援するNGO「[Sylni](#)」(日本語で「強い」)を支援してください。
- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！